

潮来市地域福祉活動計画(第2期後期)事業・取組みの進捗状況について

I 計画全体

①事業評価結果

○計画全体では、全体で81の取組があり、47の取組が「順調」「概ね順調」と58.0%の取組が「順調」「概ね順調」という結果となりました。

○「停滞」や「実績・成果なし」は合わせて5つの取組でした。

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	3	44	25	0	9

■令和4年度「順調」と評価された主な取組

「基本目標1 福祉が必要な人を見逃さない地域づくり」

・社協だより「きずな」の発行

「基本目標2 課題が解決できる地域づくり」

・心配ごと相談事業

・法律相談業

○明らかに新型コロナウイルス感染症拡大に影響があった取組は以下のようになりません。

■新型コロナウイルス感染症拡大の影響により評価「3・2・1」となった取組

「基本目標1 福祉が必要な人を見逃さない地域づくり」

・ほほえみの会いたこの推進 ・助け合い活動(有償ボランティア)の推進 ・障がい者施設展示即売会

「基本目標2 福祉が必要な人を見逃さない地域づくり」

・在宅医療・介護連携の推進

「基本目標3 サービスの切れ目と隙間のない地域づくり」

・ふれあい給食サービス事業 ・ふれあい日帰り遠足事業 ・低所得世帯児童・生徒等への学習支援 ・ファミリーサポートセンターや子育て広場との連携強化 ・心身障害者福祉センターの運営方法の検討

「基本目標4 生活の質の向上を目指す地域づくり」

・ふれあいいいききサロンの推進強化 ・定期訪問活動(安否確認) ・法人後見制度の導入 ・市民後見人の育成

②今後の方向性

○今後の方向性では、全体の 62.9%の 51 の取組が「B:このまま継続」となっています。

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数 81	0	51	30	0	0

③全体のまとめ

■新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きい

○計画された 81 の取組みのうち、47 の取組が「順調」「概ね順調」と評価され、「停滞」、「実績・成果なし」は 9 つの取組となりました。

○「停滞気味」「停滞」「実績・成果なし」の取組は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものが多くありました。社会福祉協議会の取組みの多くが市民と共に進める事業や市民に直接働きかける事業であることから、このような結果となりました。

ア 主な成果

■相談拠点としての地域包括支援センターの体制整備が進んだ

○市から委託を受けている地域包括支援センターについては、社会福祉士などの専門職の配置が進み、関係機関などからの情報を基にアウトリーチにも取り組んでいます。また、高齢者総合相談センターとの連携強化や成年後見制度の「中核機関(成年後見センター)」の設置に向けた取組を進めるなど、地域の相談拠点としての体制整備が進んでいます。

■地域資源・人材の活用への取組み

○地域に根差した福祉の展開を目指して、生活支援コーディネーターを配置し、第 2 層協議体の整備に向けた地域組織の育成や福祉資源の発掘、人材の育成などに取り組んでいます。

■新たな課題への取組みの開始

○近年、子どもの貧困などの新たな地域課題が提起されています。「フードバンクの実施(食材提供事業)」により市内認定こども園に「きずな BOX」を設置するなど、新たな課題に対する取組みを始めています。

イ 主な課題

■課題 1 複雑・複合化する福祉課題への対応

○複雑・複合化する福祉課題への対応を図るため、潮来市にふさわしい「垣根のない包括的支援体制」のあり方を検討していく必要があります。地域包括支援センターの機能や役割を検討する必要があります。

■課題 2 ボランティアなど市民福祉活動の活性化

○今回の評価では、地域福祉の推進役として期待した「(仮称)思いやりサポーター」は評価「1」となりました。

○公的福祉サービスが充実しても、要支援者の真に豊かな生活の実現のためには、要支援者を取巻く身近な市民の支援や助けがどうしても必要です。

○社会福祉協議会のボランティアセンターを中心として、一定の機能性とボランティア精神に満ちた人材の育成・発掘が必要となっています。

■課題 3 福祉人材の確保

○社会福祉協議会が実施している介護保険サービスの訪問介護事業は慢性的な人材不足に悩まされています。また、外出支援サービスなども人材確保が難しい状態となっています。

○地域全体として福祉人材の不足があるなかで、人材の育成・確保について関係機関と連携した取組が必要となっています。

■課題 4 災害時の対応力の強化

○近年、風水害の頻発や首都直下型地震の懸念などにより、災害時の対策が強化されています。

○避難行動要支援者への支援強化や福祉避難所の確保、避難体制の整備などが課題となっています。

Ⅱ 施策別状況

【基本目標1】福祉が必要な人を見逃さない地域づくり

(1) 地域で信頼される人材の育成（全取組数9）

【取組内容】

○生活支援体制整備の推進 ○ボランティア活動の普及・啓発

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	4	3	0	2

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数9	0	4	5	0	0

③総評

○令和4年度の評価「1」は、「(仮称)思いやりサポーターの募集」とボランティアセンターの「活動拠点の整備」でした。

○また、評価「3」は、「ほほえみの会いたこの推進」、「手話奉仕員養成講座」、「助け合い活動(有償ボランティア)の推進」でした。

○一方、「ボランティアグループの活動支援」などは、ボランティアセンター運営委員会の開催や情報提供の充実など、「概ね順調」と評価しました。

○この間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から新たな組織や人材の育成には困難な状況がありました。一方では、新たに、生活支援体制整備事業や、「認定ヘルパーの養成」などの取組みも始まっています。今後も、地域福祉を支える人材の育成は大切になっています。

(2) 情報共有の強化（全取組数6）

【取組内容】

○情報提供の充実

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	1	5	0	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数 6	0	6	0	0	0

※不明 1

③総評

○評価「5」は、「社協だより(きずな)」の発行となっています。そのほかの、事業もすべて評価「4」となり、社会福祉協議糧のホームページを始めとして、Facebook や Instagram、Twitter、Line、YouTube、回覧板やポスターなどを活用した情報提供に努めています。

○今後も地域福祉に関する情報提供の充実に努めていくこととなります。

(3) 福祉意識の醸成（全取組数6）

【取組内容】

○福祉意識の普及・啓発 ○児童生徒の福祉体験・講座の開催

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	4	2	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数 6	0	5	1	0	0

③総評

○評価「3」の「障がい者施設展示即売会の実施」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものです。

○福祉に対する市民の意識や理解は多様であることから、今後も福祉意識の醸成に向けて関係機関と連携し多様な啓発を行う必要が課題となっています。

【基本目標2】課題が解決できる地域づくり

(1) 福祉・保健拠点の整備（全取組数1）

【取組内容】

○福祉・保健拠点のあり方の検討

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	0	1	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数 11	0	0	1	0	0

③総評

○福祉・保健拠点の「整備構想の検討」は推進してません。今後については、相談支援体制や福祉サービスの提供体制の整備にあわせ拠点のあり方を検討していきます。

(2) 総合相談体制の整備（全取組数11）

【取組内容】

○総合相談体制の整備 ○重層的支援体制整備の検討 ○地域包括支援センター及び高齢者総合相談センターの強化検討 ○地域ケアシステム推進事業の充実 ○相談事業の充実

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	2	3	5	0	1

●相談事業の充実(社会福祉協議会)

成果	年度	件数
心配事相談人数等	令和4年	相談日数7日 15人
法律相談人数等	令和4年	相談日数12日 60人

●地域ケアシステム推進事業の充実(社会福祉課)

成果	年度	件数
ケアチーム数	令和4年	102件※

※身体障がい者3名、知的障がい者4名、精神障がい者4名含む

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数 11	0	8	4	0	0

③総評

- 評価「5」は「心配ごと相談事業」、「法律相談事業」となりました。社協だより(きずな)や市広報紙を活用して啓発に努めています。
- 「総合相談体制の整備」については、地域包括支援センターへ専門職を配置するなど体制の強化に努めています。また、権利擁護の推進については、成年後見制度の普及や「中核機関(成年後見センター)」の設置に向けて、職員研修などを進めています。
- 評価「1」は「重層的支援体制整備の検討」となっており、今後、複雑・複合化する課題の解決に向け、潮来市にふさわしい支援のあり方を検討していくこととなります。

【基本目標3】サービスの切れ目と隙間のない地域づくり

(1) 高齢者福祉・介護保健事業の充実（全取組数16）

【取組内容】

- 介護保険事業の運営 ○生活支援サービスの充実 ○認知症対策の推進 ○高齢者福祉事業の推進

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	12	2	0	2

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数16	0	11	5	0	0

③総評

- 評価「3」の事業は、介護保険事業の運営の「訪問介護事業」、認知症対策の「あたまの体操・楽習塾の推進(脳の健康教室)」となりました。「訪問介護事業」はホームヘルパーの慢性的な不足、「あたまの体操・楽習塾の推進(脳の健康教室)」は参加者の減少などが課題となっています。
- 評価「1」の事業は、「ふれあい給食サービス事業」、「ふれあい日帰り遠足事業」となっており、いずれも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響です。
- 評価「4」の中では、「認知症施策の推進」があり、認知症地域支援推進員の活動強化や関係機関との連携強化などをはかっています。
- 今後方向性「C」の中に、「外出支援サービス事業」があります。65歳以上で下肢が不自由な方の医療機関への送迎を行っていますが、運転手等の確保に課題があります。

(2) 障がい者(児)福祉の充実（全取組数4）

【取組内容】

- 障害者自立支援給付事業の運営 ○心身障害者福祉センターの運営

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	3	1	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数 4	0	4	0	0	0

③総評

○評価「3」は、心身障害者福祉センターの「運営方法の検討」となっています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で運営委員会開催などに影響がありました。

○今後の方向性は全て「B」となっており、心身障害者福祉センターの「工賃報酬の向上」においては「障害者優先調達方針」などを活用した取組を進めていきます。

(3) 児童福祉・子育て支援の充実（全取組数2）

【取組内容】

○子育て支援の充実

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	0	0	0	2

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数 2	0	1	1	0	0

③総評

○「低所得世帯児童・生徒等への学習支援」と「ファミリーサポートセンターや子育て広場との連携強化」とも評価「1」となりました。両事業とも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となっています。

○「低所得世帯児童・生徒等への学習支援」については、令和5年度から再開しました。「ファミリーサポートセンターや子育て広場との連携強化」については、今後、社会福祉協議会とファミリーサポートセンターの連携のあり方を検討していくこととなります。

(4) 生活困窮者支援の充実（全取組数3）

【取組内容】

○生活困窮者への自立支援

①事業評価結果

【評価】	5：順調	4：概ね順調	3：停滞気味	2：停滞	1：実績・成果なし
令和4年度	0	3	0	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A：拡大・強化	B：このまま継続	C：改善見直し	D縮小	E：廃止
全取組数3	0	3	0	0	0

③総評

○3つの事業すべてが評価「4」、方向性「B」となりました。

○新規事業として「フードバンクの実施(食材提供事業)」があります。市内認定こども園に「きずなBOX」を設置し、食材の受付を行っています。今後も、制度の周知と地域との連携を進めます。

【基本目標4】生活の質の向上を目指す地域づくり

(1) 地域福祉活動の充実（全取組数5）

【取組内容】

- ふれあいいきいきサロンの推進強化 ○安否確認、見守り活動の推進 ○福祉団体への支援

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	0	5	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数5	0	0	5	0	0

③総評

- すべての事業が評価「3」、方向性「C」となりました。
- 「ふれあいいきいきサロンの推進強化」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で10ヶ所中6ヶ所のサロンが活動を休止し、「定期訪問活動(安否確認)」ではふれあい給食サービスが中止となりました。今後は、中止・休止していた事業の再開を検討するものです。
- 生活支援体制整備事業を進め第2層協議体づくりに合わせて団体の活動の把握や育成を図っていきます。

(2) 権利擁護に対する充実（全取組数5）

【取組内容】

- 権利擁護の充実 ○虐待の防止

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	2	1	0	2

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数5	0	2	3	0	0

③総評

○評価「4」は、「日常生活自立支援事業の充実」、「相談対応体制の整備」となっています。社会福祉士などの専門職の確保などを進めています。

○評価「1」は、「法人後見制度の導入」、「市民後見人の育成」となっており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあって、実績もなく検討も進められませんでした。

○「法人後見制度の導入」、「市民後見人の育成」や成年後見制度利用促進に向けた「中核機関」としての社会福祉協議会のあり方については、今後、検討していくこととなります。

(3) 防犯・防災体制の充実（全取組数4）

【取組内容】

○暴発活動の推進 ○安心して暮らせる防災体制

①事業評価結果

【評価】	5:順調	4:概ね順調	3:停滞気味	2:停滞	1:実績・成果なし
令和4年度	0	0	4	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A:拡大・強化	B:このまま継続	C:改善見直し	D縮小	E:廃止
全取組数4	0	0	4	0	0

③総評

○「防犯活動の充実」、「災害ボランティアセンター確立」、「災害ボランティアの養成」、「避難行動要支援者等支援活動の推進」の4事業すべてが評価「4」、方向性「C」となりました。

○近年、風水害の頻発や首都直下型地震の懸念などにより、災害時の対策強化が必要となっています。今後、より一層、市民と連携して役割分担と連携体制のとれた対策が必要となっています。

(4) 福祉のまちづくりの充実（全取組数9）

【取組内容】

○自主財源の確保 ○社協体制の強化

①事業評価結果

【評価】	5：順調	4：概ね順調	3：停滞気味	2：停滞	1：実績・成果なし
令和4年度	0	8	1	0	0

②今後の方向性

【方向性】	A：拡大・強化	B：このまま継続	C：改善見直し	D縮小	E：廃止
全取組数9	0	7	2	0	0

③総評

○社会福祉協議会の財源確保や体制強化については、新型コロナウイルス感染症拡大による「福祉バザー、チャリティゴルフの開催」以外は、評価「4」、方向性「B」となっています。

○今後も、社会福祉協議会活動の普及・啓発に努め、市民の理解を深めるとともに、適正な協議会運営に努めるとともに体制強化を進めていきます。